

七友会 だより

『35周年記念同窓会』 9月24日(土) 開催!

ー東京・アルカディア市ヶ谷ー

目次	
35周年記念同窓会開催!	1
定年退職を迎えて 北爪 英一	2
「進路選択セミナー」 開催報告	3
会員の皆さん、連絡先 をお知らせ下さい	4
岩手大学同窓会連合の 会則改正について	4
一関市での開催決定	4
定年退職の先生へ 記念品贈呈	4

七友会は今年設立35周年をむかえ、その記念同窓会を平成28年9月24日(土)に開催することになりました。5年前の30周年同窓会は、東日本大震災の直後ということもあり、開催について賛否を含めて様々な意見がありました。そうした中、開いた会には全国から百名を越える同窓生が集い、旧交を温めるとともに、震災にむきあい、同窓会と学部が共にできることはないかと話し合いました。そうした動きの一つとして、現在も開かれている学生向けの「進路選択セミナー」があります。

40周年への折り返しとなる今回は、簡素な内容となりますが、同窓生の多い関東地区での開催となりました。東海地区や関西方面からも参加可能ですし、北陸新幹線の利用で北陸地区からの日帰り参加もできる日程となっています。

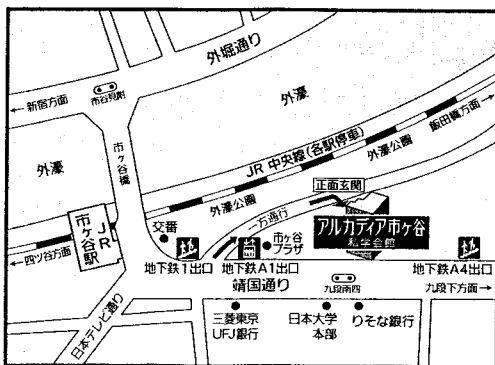
2017年は、学部創設40周年の年でもあります。大規模な学部改組もあり、節目となりそうな時期です。こうした機会に集まり、旧交を深めるとともに、今後の同窓会と学部のあり方についても語り合しましょう。若い年代の会員の皆さん、あなたの人生、仕事に役立つことにたくさん出会います。ぜひおいで下さい。

なお、今回も開催経費の多くを同窓会が負担し、会員個人の直接負担を少なくしています。友だちと誘い合って、気軽にご参加下さい。申込み締切後でも参加できます。

まだ6ヶ月も先の話ですが、本当に、すぐに来てしまいます。スケジュールの中にしっかり入れて下さい。お待ちしております。



日 時 平成28年9月24日(土)
14:00~16:30
会 場 アルカディア市ヶ谷
会 費 2,000円/人(会場で徴収します)
申込み方法 4月以降に、ホームページに掲載します。



交通のご案内

- 地下鉄 有楽町線・南北線
市ヶ谷駅(1またはA1)出口から徒歩2分
- 地下鉄 新宿線 市ヶ谷駅
(A1またはA4)出口から徒歩2分
- JR中央線(各駅停車)
市ヶ谷駅から徒歩2分

定年退職を迎えて



環境科学課程 北 爪 英 一

40年以上前になりますが、学部3年生の夏に、友人と2人で仙台から2泊3日の旅をしました。行程は三陸海岸沿いに北上し、碓石海岸の民宿で一泊、翌日宮古から盛岡に移動して市内の旅館に1泊しました。その時見物した、盛岡城址の風景が長く印象に残っており、盛岡は夏涼しくて気候が良いところだと思っておりました。大学卒業後、東京で民間企業の研究所に就職しましたが、その後昭和61年に岩手大学に採用されることになり、定年まで30年近く務めさせていただきました。盛岡に住み始めた最初の年は、冬の厳しさに驚き、数回ころびました。当時は大学の職員のレクリエーション行事として、冬のスキー行事などもあり、家族で何回か参加して以来、スキーと雪景色が私の大きな楽しみの一つとなりました。

大学の方は、赴任当時はまだ環境科学課程は人社に設置されておらず、私は基礎自然科学講座に所属しましたが、この講座には学生はおらず、所属教員は主に全学の1、2年生を対象とした理系の教養科目（一般教養科目）の授業や実験を担当していました。私が担当したのは人社・教育学部の1年生を対象とした「化学」と、工・農学部の1年生を対象とした「化学実験」でした。「化学実験」は人社2号館3階の、今でも使用中の、最大96人の学生が実験できる大きな実験室で、当時は専任の技官など、実験スタッフが充実していたこともあり、同一の実験テーマを全員が一斉に行っていました。実験終了後、学生は複数の担当教員の個人面接に合格しなければ帰してもらえない、という厳しいルールで、学生、教員ともに大変でしたが、この面接を通して実験のポイントは何か？分かってもらえるにはどういうふうに説明したら良いかを考えることができ、授業にも役立ちました。特に、面接で相対する学生が突然に理解できたときの表情の変化や、目の輝きでわかる喜びを、周近で見られる瞬間は、こちらとしても大きな喜びを感じたものでした。授業以外の時間は、実験室で静かに好きな研究に打ち込み、大変有難かったのですが、やはり大学で学生の卒業研究に直接関与できないのはさみしく思っていました。

その後、平成7年に人社の改組があり、「環境情報科学コース」が設置され、学生が入学しました。また、数年後には4課程制となり、「環境科学課程」が誕生しました。従来、人社以外の理系学生を対象とした科目は「専門基礎科目」と名称は変わりましたが引き続いて担当し、それ以外に「環境化学」という新しい分野を人社の学生に教えることになり、卒業研究（特別研究）も指導するようになりました。そこで研究の方もこれまで主に取り組んできた「分析化学」分野から環境測定分野にも取り組むことになり、10年程前には測定器一式を車に積み込み、北上川の上流から下流にかけて、学生と共に移動しながら測定実験をしました。自然を相手にするのは実験室と勝手が違い、まごつく事も多くありましたが、もともと田舎育ちで、フィールドに出るのは楽しく、良い経験でした。しかし、泊りがけで良く行った北上川の河口部は大震災で人的に大きな被害を受け、景色も全く変わってしまい、心が痛みます。

ここ数年は、植物を利用した環境修復技術の開発に取り組みましたが、学生の皆さんの熱意が身を結び、優れた方法を開発できたと思っております。また、植物の能力と可能性には大いに驚きました。

思い出をただ書き連ねてしまいました。来学期から大学は大きな改革を迎えますが、皆様にはどうぞお体にお気をつけ下さい。岩手大学、また同窓生の皆様のご発展とご健康を心からお祈りしております。ありがとうございました。

「進路選択セミナー」開催報告

今年度2回目となる「進路選択セミナー」は、平成28年2月5日（金）16：30よりG19教室で開催されました。今回の講師は、(株)デイリー・インフォメーション東北支社勤務の鳴海里絵子さんと、いわぎん事業創造キャピタル(株)代表取締役社長の稲垣秀悦さんをお願いしました。

鳴海さんは、入社6年ながら係長として部下5人のマネジメントをしながらマーケティングソリューションも兼ねるバリバリの営業職です。しかし、就職活動では、大変苦労し、入社後も何度となく「やめよう…」と思った苦い経験と、そこからの立ち直りを明るく話す姿に、学生は引き込まれていました。多くの学生が強い刺激を受けたようで、感想の中に「自由と自己責任を意識しよう」という言葉が多いことから伺えました。

稲垣さんは、岩手銀行に長く勤め、銀行業務を知



今回の講師をお願いした、
左から稲垣秀悦さん 鳴海里絵子さん

次回は平成28年6月24日（金）を予定しています。

講師、アドバイザーで協力いただける方は、お知らせ下さい。
また、同窓会から依頼することがありますのでその際は、
よろしくお願いします。



り尽くしており、その経験を生かす場として、岩手のベンチャー企業への投資を目的として設立された新会社の社長に抜擢されました。地方金融機関のおかれている厳しい状況の中、地元を元気にしていくための方向性をユーモアを交えて話しました。金融機関の現状や新しい姿を知り、興味を持った学生も多く、より深く経済状況を知る必要を感じたようです。アドバイザーとして参加した(有)くらし建築工房代表取締役の中村喜一さん、アルファ(株)代表取締役の平野利幸さんからも少し話をさせていただきましたが、先輩たちの様々な生き方を知り、「不安がひとつ消えた…」という学生もいました。

会場には2年生を中心に50名を越える学生が集まり、真剣な表情で話に聞き入っていました。アドバイザーとしては4名が参加し、終了後の反省会には浅沼道成先生も加わっていただきました。

平成28年度 評議員会開催案内

日時 平成28年6月25日(土)

13:30~17:00

会場 盛岡市内(未定)

評議員の方々には、あらためてハガキでお知らせします。
詳細はHPに掲載します。

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。

連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。

なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓会の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※ 友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに事務局までお知らせ下さい。

連絡先情報

フリガナ 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H 年 月卒) (コ-ス 課 程)	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒			
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等 (可能なかぎり)	
E-mail			
家族等連絡先 〒			

連絡先不明者の氏名を掲載する予定でしたが、都合により今回は、おこないません。

岩手大学同窓会連合の会則改正について

第14回岩手大学同窓会連合理事会は、2月29日(月)15:00から岩手大学図書館2階、生涯学習・多目的学習室で開かれました。大きな議題は、会則の改正についてです。これは、平成28年4月の学部改組にともない、教育学部の入学定員が250名から160名に変更することから、北桐会の同窓会費額が大きく減少するため、連合の運営費の見直しや会費の減額の要望がありました。運営委員会でも検討を重ね、今回、次のように改正することになりました。

運営費は、直接同窓会連合の活動に関するものに限定し、諸経費も切り詰め、平成28年度から年間120万円と見込む。各学部同窓会の負担額は、各同窓会定額とし、年額30万円とする。また、学部改組にともない工学部同窓会を理工学部同窓会と名称変更することも全会一致で了承されました。

一 岩手大学同窓会連合会則の改正一

改正後

(省 略)

(正会員)

第5条 正会員は次に掲げる同窓会組織(以下「各学部同窓会」という。)をいう。

- (1) 岩手大学人文社会科学部同窓会(七友会)
- (2) 岩手大学教育学部同窓会(北桐会)
- (3) 岩手大学理工学部同窓会(一祐会)
- (4) 岩手大学農学部同窓会(北水会)

(省 略)

(運営費)

第13条 本会の運営費は、会費及びその他の収入をもって充てる。

2 各学部同窓会は、会費として年額30万円を7月末日までに、納入するものとする。

(省 略)

附 則

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

一関市での開催決定 卒業生・修了生と学長との懇談会(第9回)

2月29日の同窓会連合理事会において、開催日、開催場所が次のように決まりました。

日 時 平成28年8月6日(土)

懇 談 会 15:00~17:00

懇 親 交 流 会 17:30~19:00

場 所 一関市:ペリーノホテル一関

具体的な内容等の案内は、例年どおり往復はがきで行います。岩手県南、宮城県北地区の方々を中心にお知らせしますのでお誘いあわせの上、御参加下さい。なお、懇親交流会の会費への同窓会からの半額補助も例年どおり行いたいと思います。

定年退職の先生へ記念品贈呈

今年3月で定年退職となる先生は、今号に寄稿いただいた環境化学の北爪英一教授と、財政学の井上博夫教授のお二人です。長い間、ありがとうございます。お二人には同窓会からささやかではありますが、記念品をお贈りしました。

また、学部改組に伴い、次の6名の環境科学課程の先生方が新設される理工学部へ移られます。

- 尾 台 喜 孝 教 授 (環境情報論)
- 西 崎 滋 教 授 (放射能環境論)
- 花 見 仁 史 教 授 (宇宙地球進化論)
- 石 垣 剛 准教授 (宇宙物理学)
- 川 崎 秀 二 准教授 (環境統計学)
- 奈 良 光 紀 准教授 (環境生態モデル論)

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

【郵便宛先】 020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛

【事務局】 Tel(留守録)& Fax: 047-336-3945
E-mail: jimu@jinsya.com

ホームページもご覧ください!

http://www.shichiyukai.net/
http://www.jinsya.com/〔関東支部〕